



# 松本市図書館だより

平成25年10月1日発行 第7号



編集・発行 松本市図書館  
〒390-0861  
松本市蟻ヶ崎 2-4-40  
電話/0263(32)0099

読書の秋!

## 図書館職員のオススメ本



10月27日の「文字・活字文化の日」から11月9日までの間、読書週間が始まります。今回の図書館だよりでは、みなさんに読んでいただきたい図書館職員のオススメ本を通常コーナーの拡大版としてご紹介します。ぜひ、秋の読書の本選びの参考にしてみてください。



### 『つづきの図書館』

柏葉 幸子／著 講談社

【JFカシ】

司書の桃さんに絵本の中から出てきた、はだかの王様や、あまのじゃくたちが自分たちの物語を読んでくれた子のつづきが知りたいと言うユーモアある心温まる物語が4編。最後はその4編があわさって心深い物語に……。児童書ですが、ぜひ大人の方にオススメです。



### 『早く家(うち)へ帰りたい』

高階 紀一／著 夏葉社【911.5タ】

幼くして亡くした我が子との約4年の日々を綴った詩集。生まれた日のこと、初めてのおしゃべり、そして死に対する戸惑いや悲しみ。行き場のない感情が子共への愛おしさを通して、素直に書かれています。それはまるで日常の片隅でそっと呟いた言葉が、そのまま文字になったかのよう。綺麗な夕焼け色をした、素敵な詩集です。



### 『もう、ビニール傘は買わない。』

大平 一枝／著 平凡社

【590オ】

つい買ってしまい、増えていく一方の“無駄なモノ”。買ったモノをただ捨てるのではなく、本当に自分に必要なものを選び、残していきたい。読んだその日から真似できることが沢山あり、豊かなエコ生活を真似できるヒントがたくさん詰まった一冊。

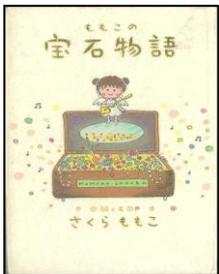


### 『武士の一言』

逆境を打ち破った男たちの名言

火坂 雅志／著 朝日新聞出版【281ヒ】

ある武士の一言「急用のことなり、静に書すべし」。シンプルですがどこか納得させられます。激動の時代を生き抜いた戦国の武士たち。そんな彼らが発した一言はどれも重みがあり、非常に感慨深く、現代にも通じるものがあります。誰もが知っている名言から、生き様を感じられる名言まで、歴史好きにはたまらない一冊です。

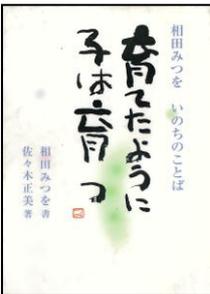


### 『ももこの宝石物語』

さくら ももこ／著 集英社

【755サ】

カラー写真で簡単な宝石についての説明もあるので、宝石図鑑としても楽しめます。作者が宝石に興味をもったきっかけであるパライバ・トルマリンについてや、母のニセモノコレクション、ヒロシが母に贈った真珠の秘密など、宝石が少し身近に感じられる、おなじみさくらももこが関わった宝石についてのエッセイです。



### 『育てたように子は育つ』

相田 みつを／書、佐々木 正美／著 小学館

【379ア】

子育て中の皆さん、是非読んでみてください！相田みつをの書に精神科医の佐々木氏が実例をあげて子育て中の方に伝えたいことなど解説しています。育児や家事の合間、ホッと一息つきたいときにおすすめの一冊です。



### 『ねたあとに』

長嶋 有／著 朝日新聞出版【Fナカ】

職業も年齢もバラバラのメンバーが、夏の山小屋に集まって夜毎楽しむ謎のゲーム…といってもサスペンスではありません。ケイバ・顔・だじゃれしりとりなど、どれもクスリと笑えて、読み終わった後、実際にやってみたくなる！「俺が寝た後に、皆がものすごく楽しい遊びとか会話をしていたら悔しいじゃないか。」そして今日も夜が更けていくのでした…。



### 『マリメッコ パターンとデザイナーたち』

マリア・ハルカパー／〔ほか〕執筆

パイインターナショナル【589マ】

北欧フィンランドのファッションブランド“マリメッコ”。名前は知らなくても、大胆な色使いや柄を用いた製品を一度は目にしたことのある人は多いかもしれません。過去から現在までに作られた色鮮やかなパターンをはじめ、デザイナー自らが仕事について語るなど、マリメッコの世界に触れられる本です。

## 読書週間とは？



終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っている時、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。

今の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは、第2回からです。

(読書推進運動協議会ホームページより)



# 図書館と私

「私の本棚」

図書館協議会委員  
小松 規美子

〔松本市図書館協議会委員の皆さんによるコラムです。〕

それまでの私は、それほど、図書館を利用していただけではなかった。

四年前、社会教育委員会議の席で「これは、勉強になりますよ。」という議長さんの一言に触発され、図書館協議委員会に仲間入りさせていただき、足を運ぶ回数が増えたのだった。

年に二回の会議の中で、松本市内に、中央図書館以外に当時、九つの分館があることを知り（現在では十ある。）どうしても全部、見学したくなった。

仕事の合間の時間調整は大変だったが、ちょうど各館の職員の方々の、オリジナルスタンプラリーが企画されていて、それ欲しさに、何とか必切ギリギリ、全館まわることができた。考えてみれば、贅沢なことだ。

近い将来、仕事をやめる時がきたら、毎日ちがう図書館に出かけてみたい。農作業の合間に、ふと出かけて、立ち寄りたりして。

## 予約本ベスト5

平成25年8月15日～  
平成25年9月15日受付

### 一般書

- 1位 『ホテルローヤル』  
桜木 紫乃／著、集英社
- 2位 『死神の浮力』  
伊坂 幸太郎／著、文藝春秋
- 3位 『政と源』三浦 しをん／著、集英社  
『ロスジェネの逆襲』  
池井戸 潤／著、ダイヤモンド社
- 5位 『オレたち花のバブル入組』  
池井戸 潤／著 文藝春秋  
『たぶんねこ』（しゃばけシリーズ 12）  
畠中 恵／著、新潮社

### 児童書

- 1位 『かいけつゾロリなぞのスパイと  
100本のバラ』  
原 ゆたか／さく・え、ポプラ社
- 2位 『黒魔女さんが通る!! part 16』  
石崎 洋司／作、講談社
- 3位 『若おかみは小学生! part 20』  
令丈 ヒロ子／作、講談社
- 4位 『怪盗クイーンと悪魔の金連術師』前編  
はやみね かおる／作、講談社
- 5位 『願いがかなうふしぎな日記』  
本田 有明／著、PHP 研究所  
『はだしのゲン 上巻』  
中沢 啓治／原著、汐文社

## 図書館に聞いてみよう!

### 【今月の事例】

聴きたいCDを探すことはできますか。

Q. ヴィオラ奏者のズッカーマンのCDが聴きたい。

A.

外国人の名前の読み方は、訳者によって微妙に違うことがよくあります。これはCDだけでなく本の著者でもありますので覚えておくと良いかもしれません。

今回の奏者はピンカス・ズッカーマンと言う方が該当の奏者ですが、名前のズッカーマンで検索画面で探しても見つかりませんので、ちょっと変えてズカーマンで探すと、下記の三枚のCDが見つかります。

・『バッハ、ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲 五嶋みどり／演奏』

・『モーツァルト 協奏交響曲 コンチェルトーネ モーツァルト／作曲』

・『ヨーヨー・マ ハイドン&ボッケリーニ チェロ協奏曲 ヨーヨー・マ／演奏』

外国人の名前は同一人物でも国によって読み方が違うことはご存知ですか？わかりやすいところでは（英）エリザベスも（独）エリザベート（露）エカテリーナとなり、（英）チャールズも（フランス）シャルル（独）カールとなります。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

### 編集後記

日が落ちるのも早くなってきた今日この頃、秋の夜長には読書がぴったりですね！  
ということで、今回の特集「図書館職員のオススメ本」いかがでしたか？  
みなさんの読書のキッカケにさせていただいたらこれ程嬉しいことはありません。

